

いじめは身近における可能性があり、友だちかだれかをいじめていることがあるかもしれないことがあるのも、わかりました。いじめられているところを見たら、勇気をもて、先生やお家の人に相談することが大事なことを改めてわかつてほくも、もしいじめられているところを見たら、勇気をもて行動しようと思います。非行については悪いことをしても立ち直っていく人生のすがたがえかかれていって主人公の努力と勇気が伝わりました。今回のパラハラマンガといじめの再現映像の主人公はどうちらも勇気をもて行動していく、勇気をもつことは大切だということがわかりました。社会を明るくするには、ひとりひとりが自覚をもつことが大切だと感じました。

この重かぬを見て、いろんなことがわからました。最初の非行の重かぬでは、私でも友だちでもああいうことをしるということが非わかり、少しこわくなりましたが、もし友だちが同行の道へすすんだら、止めてあげたり、自分がそなりないように、友だちや道の人に行バコやらなければいけないけれど、「うちよとだけ」といわれても、ぜ、たいにことわろうと思いました。(じめのドラマの方は、私の学校ではそんなに重度のいいドラマを見たことも聞いたこともなく、正直いじめなど大たちやお舌でさわいでるだけ、私には関係がない、そう思っていました。しかし今回のドラマみて、じめが本当にあること、さらにその重き、命の重みがわかりました。さらにこのドラマの女子みたいに目がきしても「やべくね...」でおわらせような人間にはなりたくない、そう思いました。小学校最後のじめについておくれてありがとうございました。

川端小学校6年4組

非行 ハラハラまんが

。親のけんかからはじめて、自分で反こうして、非行に、いってしまった、親見にもめいあくがかり、非行にいかないように支えてくれる人がいたりいいのかなと思いました。自分で非行にいかないようにしたいし、友たちや身近な人やできないようにしていきたいです。

いじめ、トラマ

。いじめはあってはいけないことだけど、いじめている人も、いじめられているひとも、つらいやうまいりの人も、声をかけて、これにしても、自分が次にいじめられるんじゃないかと思って、声をかけられないで、声をかけるだけでも、そのいじめが、なくなることも、あるし、いじめてる人も、いじめられてる人も、そういう目にできるから、自分も、やうまたしてかけたら、声をかけたいです。

死ということはよく知らないけど、大切な人の死はすごく

えいきょががあることが分かりました。

八幡小学校 6年4組